

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
	橋本市立高野口小学校	榊 洋史
学校所在地		
〒 649 - 0072 橋本市高野口町名倉226 Tel 0736(42)2061 fax 0736(42)2082		
担当者名	役職名・担当教科	
中山 睦子	6年担任	
<p>〔学校の概要〕 北は和泉山脈、南は紀ノ川にはさまれた洪積平野に位置し、歴史は古く明治8年に開校した学校である。昭和12年に建てられた校舎は、平成21年から改修が始まり、現在の木造校舎は、国の重要文化財に指定されている。また、平成28年にはユネスコスクールに加盟。令和3年、児童数224名の子どもたちは、落ち着いた校舎でのびのびと学校生活を送っている。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 6年生 37名	5名 職員 2名	高野町中央公民館 / 奥之院
実践研究テーマ		
未来を創る子どもの育成		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	ふるさと学習 「紀伊山地の霊場と参詣道の魅力を探ろう」	
〔キーワード〕 高野口、弘法大師、世界遺産学習		
<p>〔単元目標〕</p> (1) 高野口町の歴史について調べる。 (関心・意欲・態度) (2) 高野口町の歴史を調べる中で、さらに調べたいことを見つけ、追及して取り組む。 (課題設定・課題解決の能力) (3) 情報を集め、調べたことを効果的に伝えようとする。 (表現力・コミュニケーション能力) (4) 世界遺産高野山のふもとの町であることや、織物産業で有名な街としての歴史に誇りをもつことができる。 (学びに向かう力、人間性)		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕		
全体 35 時間 (ふるさと学習 / 紀伊山地の霊場と参詣道の魅力を探ろう 10 時間)		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> (1) 和歌山県世界遺産センター・・・次世代育成事業（現地学習等） (2) 和歌山県世界遺産マスター・・・次世代育成事業（現地学習）		

実践校に関する事項			
〔单元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	1 昔の高野口の姿について知る。 2 高野口の歴史について調べる。 3 高野口町の文化遺産を訪ねる。	・高野口の歴史を調べる中で、さらに調べたいことを見つけ、追及して取り組む。	(課題設定・課題解決の能力) ワークシート
2	4 高野口町の文化遺産について分かったことをまとめる。 5 さらに調べたいことを見つけ、追及して取り組む。	・地域の人、もの、ことにかかわる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けているとともに、地域の特徴や良さが分かる。	(知識・技能) ワークシート
3	6 世界遺産高野山のふもとの町であることに目を向け、「紀伊山地の霊場と参詣道」について知る。 7 高野山について調べる。	・高野山の歴史を調べる中で、さらに調べたいことを見つけ、追及して取り組む。	(課題設定・課題解決の能力) ワークシート
4	8 世界遺産講座により、世界遺産の概要を学び、高野山奥之院の現地学習を通して「紀伊山地の霊場と参詣道」について興味関心を高める。	・現地でしか味わえない雰囲気堪能し、自ら調べてきた事柄について、さらに理解を深め、興味関心を高めるきっかけにする。	(学びに向かう力、人間性)
5	9 現地で学んだことをまとめる。 10 調べたことを発表する。	・地域の人、もの、ことから、集めた情報を整理、分析してまとめ、表現する力を身に付ける。	(表現力・コミュニケーション能力) ワークシート
〔单元学習の成果と課題〕			
<p>成果 ふるさと学習の実践を通して、児童が様々な事柄に対して、主体的に学びに向かおうとする態度が身についてきた。身近な町の文化遺産を調べる中で、歴史との深い結びつきを発見し、さらに、世界遺産との深い結びつきも発見し、点と点が結びついていくような感覚で調べ学習を意欲的に進めることができた。また、実際に現地で見学をすることができたことで、さらに理解を深め、興味関心を高めることができた。</p> <p>課題 高野口町内の文化遺産を訪ねた際、場所によっては情報量が少ないところもあったので、世界遺産マスターさんのような方と一緒に見学に行けたら、さらに高野口の興味深い歴史が紐解けたのではないかと感じた。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>世界遺産が、世界の人々にとって共通するかけがえのない宝物であり、未来の人々に引き継いでいかなければならない貴重なものであるということを知り、それらの世界遺産が身近にあることに誇りをもち、興味関心を広げながら学習することができた。</p> <p>(1) 高野口町の文化遺産について知ることができた。 (2) 世界遺産について、知識を深めることができた。 (3) 高野山の歴史について学習したことをまとめ、発表することができた。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>今回の次世代育成事業で、身近にありながら、なかなか知られていない地域の歴史を知るきっかけにすることができた。今後も地域のことに目を向け知識を深めるために、地域人材の活用を考えながら、続けていきたいと感じた。</p>			

【高野山新聞】

高野山新聞
第 1 号
発行日
発行所

高野山に関する絵
① 弘法大師
空海

奥之院
②

空海について
③ 根本大塔

高野山は世界遺産
④

奥之院
奥之院の写直六

弘法大師について
密教を学ぶために唐(中国)へ渡り、帰国後に真言宗という宗派を興えました。仏教を広めることに力を尽くし、数々の功績を残しています。数々の詩人々に次難を授け、いよいよ四国(伊予)にまで聖地を作らせた。

空海は平安時代の初期の僧で、日本天台宗の開祖。最澄と兵に、日本仏教の大勢が、今日称される奈良仏教から平安仏教へと転換していき、流れの劈頭に位置し、中国より真言密教をもたらしてきました。

空海は平安時代の初期の僧で、日本天台宗の開祖。最澄と兵に、日本仏教の大勢が、今日称される奈良仏教から平安仏教へと転換していき、流れの劈頭に位置し、中国より真言密教をもたらしてきました。

壇上伽藍として高野山の信仰の中心であり、弘法大師が入定された聖地です。一橋から御願まで約2kmの参道にはおよそ20万基を超える諸大名の墓石や祈念碑の数々があります。

高野山新聞
第 1 号
発行日
発行所

有名武将の墓
① 明智光秀
② 織田信長
③ 豊臣秀吉
④ 石田三成

空海について

奥之院について

高野山は、平安時代の初期、日本が生まれた偉大な聖人、弘法大師によって開かれた日本仏教の本聖地です。実は、高野山という山はなごころ。

空海は、平安時代の初期の僧で、日本天台宗の開祖。最澄と兵に、日本仏教の大勢が、今日称される奈良仏教から平安仏教へと転換していき、流れの劈頭に位置し、中国より真言密教をもたらしてきました。

壇上伽藍として高野山の信仰の中心であり、弘法大師が入定された聖地です。一橋から御願まで約2kmの参道にはおよそ20万基を超える諸大名の墓石や祈念碑の数々があります。